当日資料2

松本市立地適正化計画の見直しについて

1　趣旨

居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトなまちづくりを推進するため、平成29年3月に策定（平成31年3月に一部改定）した「立地適正化計画」を、策定からおおむね5年が経過したこと等により見直しを行うものです。

2　主な経過

H31.　3　松本市立地適正化計画の一部改定（居住誘導区域等の追加）
R　元.　　松本市災害危険度判定調査の実施
2.　9　都市再生特別措置法の改正により立地適正化計画に定める事項に防災指針を追加
3.　6　松本市ハザードマップを公表（1000年に1度起る大雨）
4.　5　第7回区域区分の定期見直し
8　松本市防災都市づくり計画の策定
6.　4　松本市ハザードマップの更新（中小河川の浸水想定区域反映）
12　松本市都市計画審議会へ計画見直しを報告
7.　2　第1回松本市都市計画策定市民会議を開催

松本市立地適正化計画　概要版

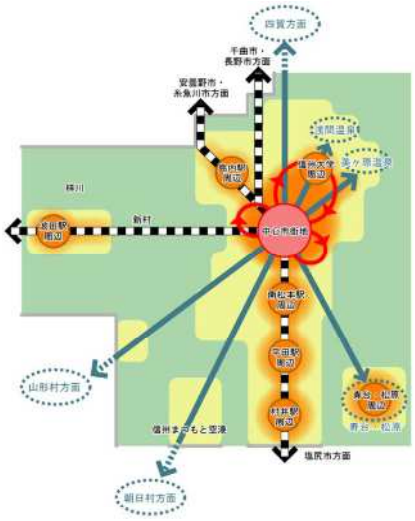
1　「松本市立地適正化計画」とは

■　背景と目的

超少子高齢型人口減少社会における持続可能なまちづくりを進めるため、歩いて暮らせる「集約型都市構造」を具現化する仕組みとして、「都市再生特別措置法」に基づいて策定

■　計画の前提

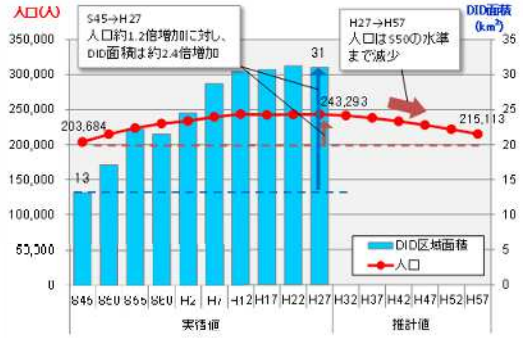
○目標年次　令和17年（2035年）
○人　口　　国勢調査実績値（平成27年（2015年））及び国立社会保障・人口問題研究所推計値
（平成30年3月推計）
○対象区域　松本都市計画区域
ただし、都市全体を支える都市構造とするため、対象区域外の暮らしも視野に入れて、区域外についても一部の分析等を実施

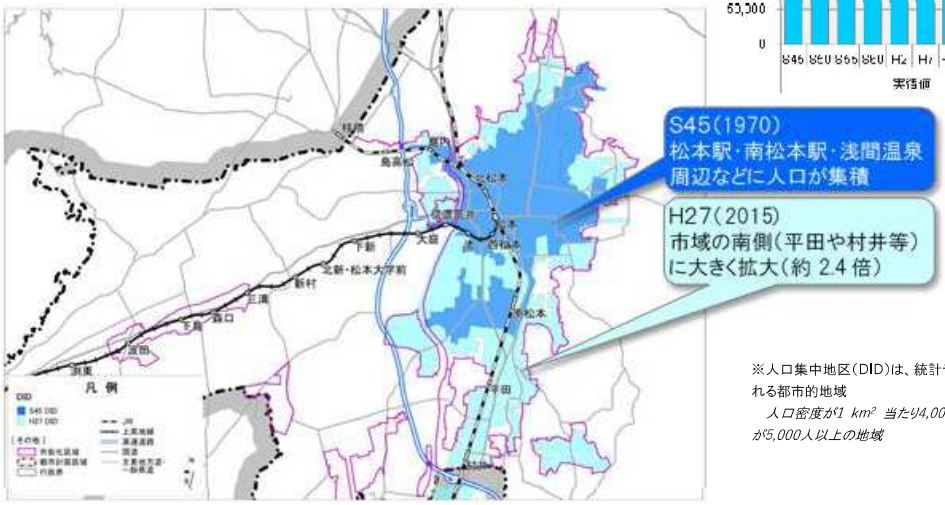


■ 人口集中地区の拡大

○昭和45年（1970年）から平成27年（2015年）までに、市の人口は約1.2倍増加し、人口集中地区 （DID）※は約2.4倍拡大

○20年後の令和27年（2045年）には、昭和50年頃の水準まで人口は減少し、3人に一人が高齢者





※人口集中地区（DID）は、統計データ（国勢調査）に基づいて一定の基準により設定される都市的地域

人口密度が1 km² 当たり4,000人以上の基本単位区等が隣接した地域のうち、人口が5,000人以上の地域

3 立地適正化の基本的な方針

■ 目指す都市像とまちづくりの方針（ターゲット）

○35地区の地域づくりを土台として、市域全体を支える都市構造の強化

○豊富な資源とコンパクトな市街地の形成により、「住む人」と「訪れる人」にとって、魅力と活力にあふれる都市の創出

4　誘導区域等の設定

■ 集約型都市構造と立地適正化計画の活用イメージ

■ 都市機能誘導区域の設定

都市機能誘導区域は、以下の手順で検討し、道路や河川等の地形地物や用途地域など、長期にわたって存在し得る位置を区域境界として確定します。

○都市機能誘導区域の設定フロー

STEP 0　市街化区域

拠点の選定（都市中心拠点、地域拠点）
①都市計画マスタープランや地域公共交通網形成計画の位置付などから、将来の都市構造の核となる拠点を選定

▼

STEP 1　基本区域の設定

鉄道駅や主要なバス停へ歩いて行きやすい範囲
①都市計画マスタープランの都市中心拠点周辺
②鉄道駅や主要バス停から半径 500m の範囲

▼

STEP 2　地域の特性を踏まえた区域の追加

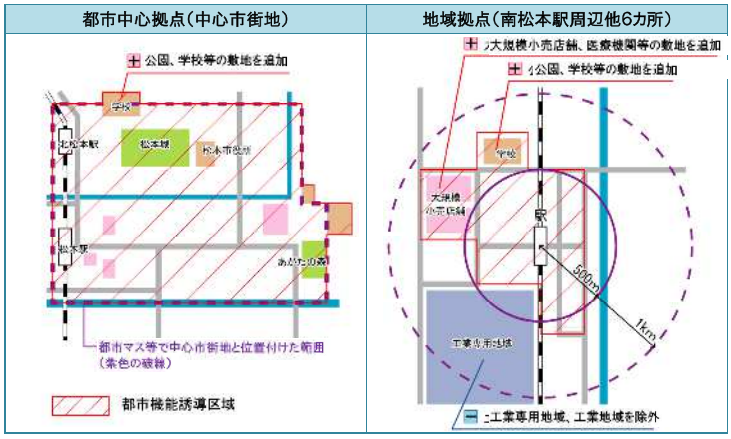
将来的な公共施設等の再配置などを見据えて区域を追加
①基本区域の周辺部で誘導施設の立地の可能性がある敷地（公園、学校、まとまった空き地等）
②現在、誘導施設が立地する敷地

▼

STEP 3　区域境界の確定

明確でかつ長期にわたって存在し得る要素で区域境界を確定
①工場の操業や低層住宅の良好な住環境が優先される区域、特に災害の危険性の高い区域を除外
②道路等の地形地物や用途地域で区域境界を確定

○都市機能誘導区域設定のイメージ



■ 居住誘導区域の設定

居住誘導区域は、以下の手順で検討し、道路や河川等の地形地物や用途地域など、長期にわたって存在し得る位置を区域境界として確定します。

○居住誘導区域の設定フロー

STEP 0 市街化区域

STEP 1 基本区域の設定

居住の誘導に適さない区域を除外した範囲
①法令等により居住できない区域
②災害の危険性の高い区域
③住宅以外の土地利用を図る区域

STEP 2 居住誘導区域のベースの設定

都市機能及び公共交通の持続性を高めるため、都市機能誘導区域や鉄道駅等へ歩いて行きやすい範囲
①都市機能誘導区域
②主要交通軸(駅、主要バス路線バス停)の徒歩圏

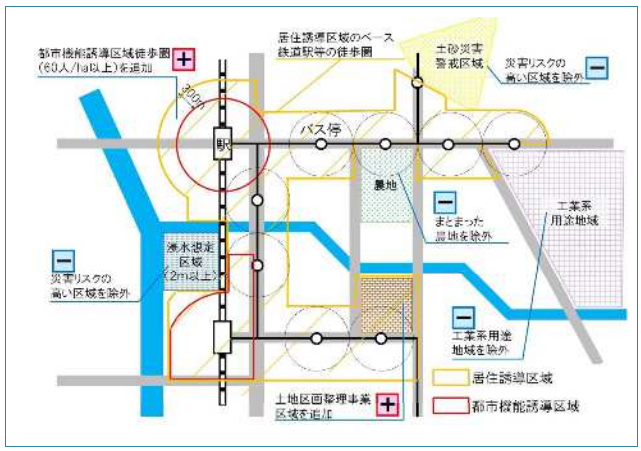
STEP 3 地域の特性を踏まえた区域の追加

既に良好な住環境が形成されている区域を追加
①一定の人口密度を有する区域
（都市機能誘導区域から300mの範囲）
②基盤施設を面的に整備済、又は整備中の区域

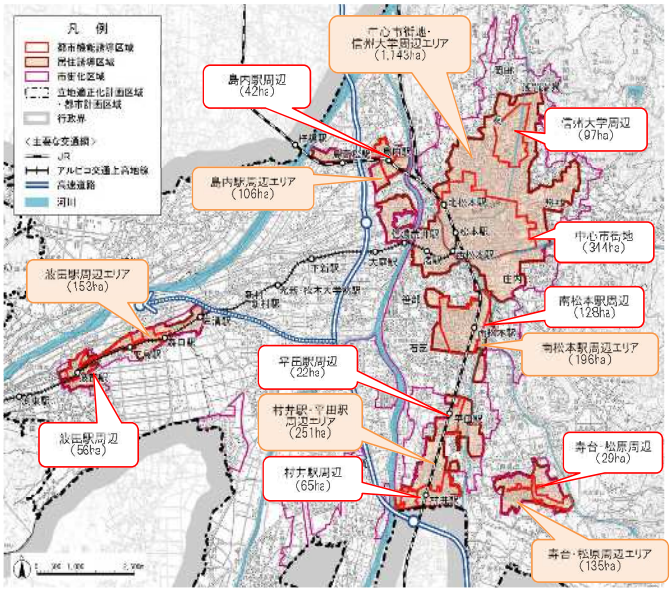
STEP 4 区域境界の確定

明確でかつ長期にわたって存在し得る要素で区域境界を確定
①まとまった農地を考慮(縁辺部の農地を除外)
②道路等の地形地物や用途地域で区域境界を確定

○居住誘導区域設定のイメージ



■ 都市機能誘導区域及び居住誘導区域

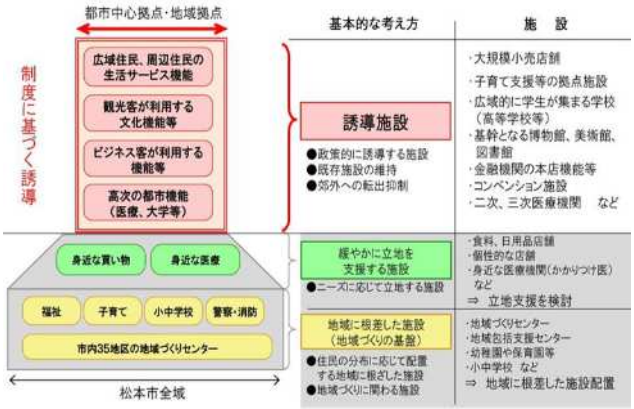


都市機能誘導区域			居住誘導区域	
拠点		範囲	エリア	範囲
都市中心拠点	中心市街地	松本城～あがたの森～松本駅を中心とする344ha	中心市街地・信州大学周辺エリア	中心市街地、信州大学、長野県松本合同庁舎を含む1,143ha
地域拠点	信州大学周辺	信州大学を中心とする97ha		
	南松本駅周辺	南松本駅を中心とし、国道19号と県道平田新橋線に挟まれる128ha	南松本駅周辺エリア	南松本駅周辺及び国道19号沿線の196ha
	村井駅周辺	村井駅を中心とし、奈良井川と田川に挟まれる65ha	村井駅・平田駅周辺エリア	村井駅～平田駅周辺及び国道19号沿線の251ha
	平田駅周辺	平田駅（JR篠ノ井線）東側、国道19号沿いの22ha		
	島内駅周辺	島内駅を中心とし、長野自動車道と奈良井川に挟まれる42ha	島内駅周辺エリア	島内駅～島高松駅周辺及び旧国道147号沿線の106ha
	波田駅周辺	波田駅を中心とし、上高地線沿いの56ha	波田駅周辺エリア	波田地域の市街化区域内の153ha
	寿台・松原周辺	寿台東口バス停を中心とし、公共施設がまとまって立地する29ha	寿台・松原周辺エリア	寿台・松原の市街化区域の内の135ha
都市機能誘導区域面積合計783haは、市街化区域面積4,008haの19.5% 居住誘導区域面積合計1,984haは、市街化区域面積4,008haの49.5%				

■　誘導施設の設定

○都市活動や生活を支える高次な施設を拠点へ維持・誘導
○暮らしに身近な施設は、地域の特性に応じた立地の支援を検討
○地域づくりの基盤施設は特定の拠点へ誘導せず、地域に根差して配置

		行政	商業				医療		福祉			子育て		金融	文化				教育研究			コンベンション	事業		
1 誘導施設 ●：ある施設の充実（増加、機能拡充） ▲：ない施設を誘導 ■：ある施設の維持（区域外への立地抑制） 2 緩やかな立地支援 △：地域特性に応じて立地（維持）		主要な行政施設	大規模集客施設	大規模小売店舗	食料・日用品店舗	個性的な店舗	二次・三次医療機関	身近な医療機関	高齢者福祉施設	生きがいの仕組みをつくる施設	障害者支援の拠点施設	子育て支援施設	学生や子どもが集う施設	日銀、金融機関の本店機能等	支店、郵便局等	基幹となる博物館、美術館等	基幹となる図書館	情報発信施設	音楽ホール、文化ホール	広域的に学生等が集まる学校	研究機関、まちなかキャンパス	大学および関係機関	コンベンション施設	文化芸術と産業をつなぐ施設	エネルギー高度利用施設	本社機能（工業系等を除く、）
都市機能誘導区域	都市中心拠点 中心市街地	●	■	■	△	△	■	△	●	▲		▲	●	●	△	●	●	▲	●	●	▲		●	▲	▲	●
	地域拠点 南松本駅周辺		■	■	△			△	●	▲	●	▲			△					●						
	地域拠点 村井駅周辺			■	△		■	△	●	▲		▲			△					●						
	地域拠点 平田駅周辺			■	△			△	●	▲		▲			△											
	地域拠点 島内駅周辺			■	△			△	●	▲		▲			△				●							
	地域拠点 波田駅周辺			■	△		■	△	●	▲		▲			△				●	●						
	地域拠点 寿台・松原周辺			■	△			△	●	▲		▲			△											
	地域拠点 信州大学周辺			■	△		■	△	●	▲		▲			△				●	●		●				



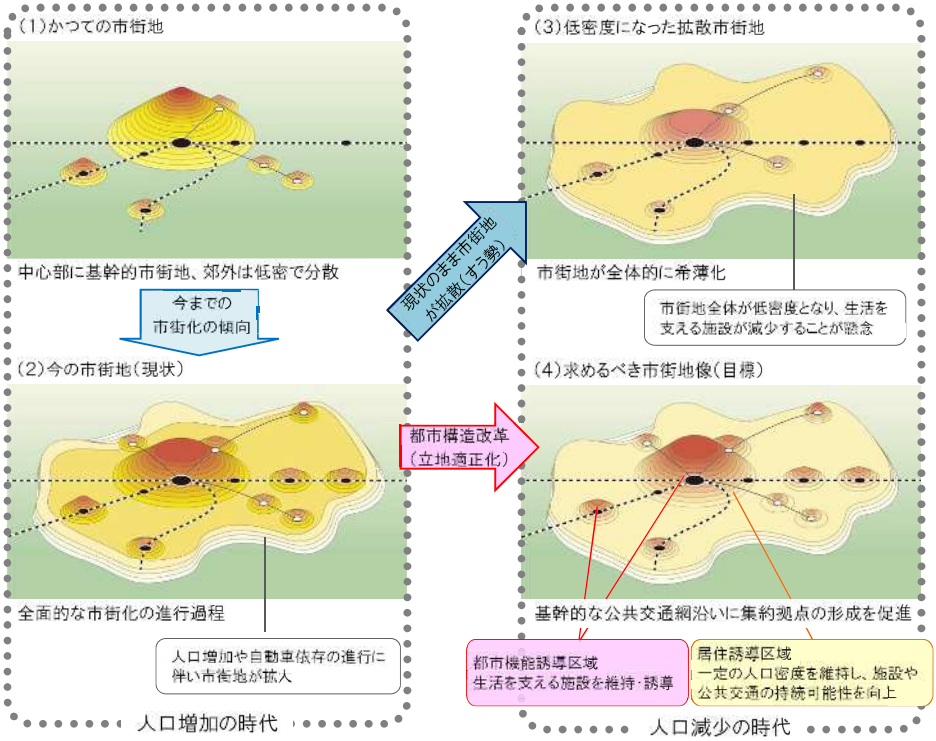
6　計画の推進に向けて

■　目標値と効果指標

計画の進捗を評価するための目標値を定めます。

計画の目標			現状：H27	（すう勢値：H47）	目標
都市機能誘導					
誘導施設が増加した区域数			－	－	全8区域
居住誘導					
人口密度	居住誘導区域全体		45.6 人/ha	（41.3 人/ha）	45.6 人/ha
		中心市街地・信大	47.3 人/ha	（42.1 人/ha）	47.3 人/ha
		南松本	41.4 人/ha	（38.7 人/ha）	40.0 人/ha
		村井・平田	41.7 人/ha	（38.4 人/ha）	40.0 人/ha
		島内	47.1 人/ha	（47.8 人/ha）	47.1 人/ha
		波田	31.5 人/ha	（29.6 人/ha）	35.0 人/ha
		寿台・松原	59.1 人/ha	（50.9 人/ha）	59.1 人/ha
	居住誘導区域外		35.6 人/ha	（33.5 人/ha）	現状程度を維持

備考　H47すう勢が40人/ha以上の場合：H27人口密度を維持する（現況の人口密度を維持）。
H47すう勢が40人/ha未満の場合：40人/haを目標とする。
ただし、波田地区は現状の人口密度が低いため、35人/haを目標とする。

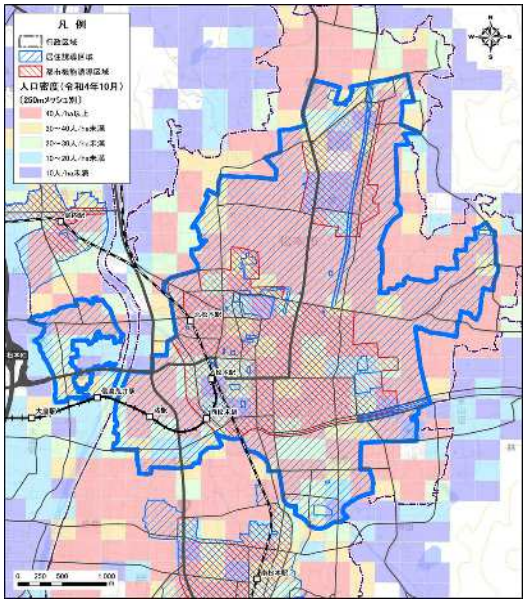


居住誘導区域別の人口密度（令和４年10月）

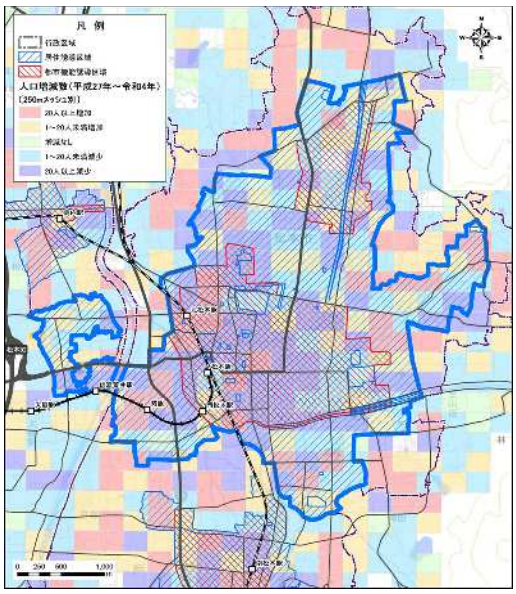
① 居住誘導区域（中心市街地・信州大学周辺エリア：1,143ha）

現行計画の目標設定では、平成27年（2015）の人口密度47.3人/ha（54,045人）を令和17年（2035）においても維持することを目標としています。

居住誘導区域（中心市街地・信州大学周辺エリア）における令和４年（2022）の人口は52,556人、人口密度は46.0人/haで、平成27年（2015）と比べると人口・人口密度は減少傾向となっています。



人口密度分布(令和4年10月):居住誘導区域(中心市街地・信州大学周辺エリア)
資料:松本市「住民基本台帳人口250mメッシュデータ(令和4年10月)」再編加



人口増減数(平成27年～令和4年):居住誘導区域(中心市街地・信州大学周辺エリア)
資料:松本市「住民基本台帳人口250mメッシュデータ(平成27年10月、令和4年10月)」再編加工

人口動向と現行計画の目標設定：居住誘導区域（中心市街地・信州大学周辺エリア）

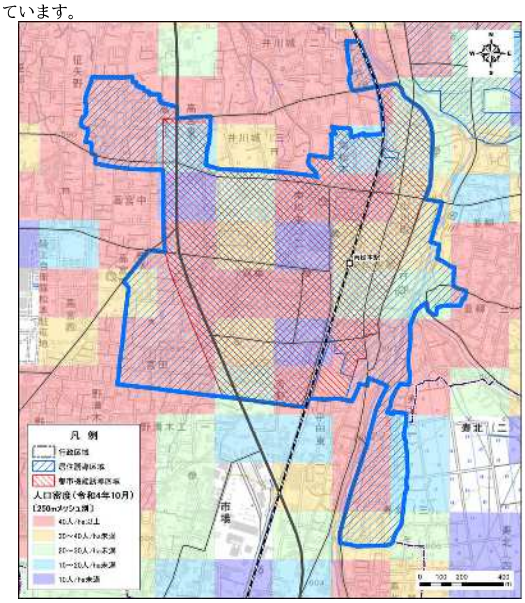
	実績値(住基人口)		目標値(現行計画)	
	H27(2015 年)	R4(2022 年)	R17(2035 年)	目標の設定分類
人口	54,045 人	52,556 人	54,045 人	現状維持
人口密度	47.3 人/ha	46.0 人/ha	47.3 人/ha	

※ 各年次の人口は、100mメッシュ別住基人口を用いた面積按分により算出

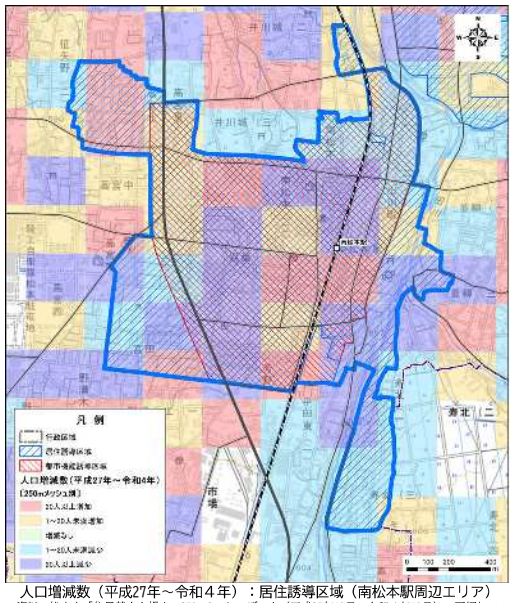
② 居住誘導区域（南松本駅周辺エリア：196ha）

現行計画の目標設定では、人口減少を抑制し、令和17年（2035）において人口密度40.0人/ha（7,845人）を目標としています。

居住誘導区域（南松本駅周辺エリア）における令和４年（2022）の人口は7,934人、人口密度は40.5人/haで、平成27年（2015）と比べると目標は達成しているが、人口・人口密度は減少傾向となっています。



人口密度分布（令和４年10月）：居住誘導区域（南松本駅周辺エリア）
資料：松本市「住民基本台帳人口250mメッシュデータ（令和４年10月）」再編加工



人口増減数（平成27年～令和４年）：居住誘導区域（南松本駅周辺エリア）
資料：松本市「住民基本台帳人口250mメッシュデータ（平成27年10月、令和４年10月）」再編加工

人口動向と現行計画の目標設定：居住誘導区域（南松本駅周辺エリア）

	実績値(住基人口)		目標値(現行計画)	
	H27(2015 年)	R4(2022 年)	R17(2035 年)	目標の設定分類
人口	8,117 人	7,934 人	7,845 人	人口減少抑制
人口密度	41.4 人/ha	40.5 人/ha	40.0 人/ha	

※ 各年次の人口は、100mメッシュ別住基人口を用いた面積按分により算出

③ 居住誘導区域（村井・平田駅周辺エリア：251ha）

現行計画の目標設定では、人口減少を抑制し、令和17年（2035年）において人口密度40.0人/ha（10,038人）を目標としています。

居住誘導区域（村井・平田駅周辺エリア）における令和４年（2022年）の人口は10,851人、人口密度は43.2人/haで、平成27年（2015年）と比べると人口・人口密度は増加傾向となっています。

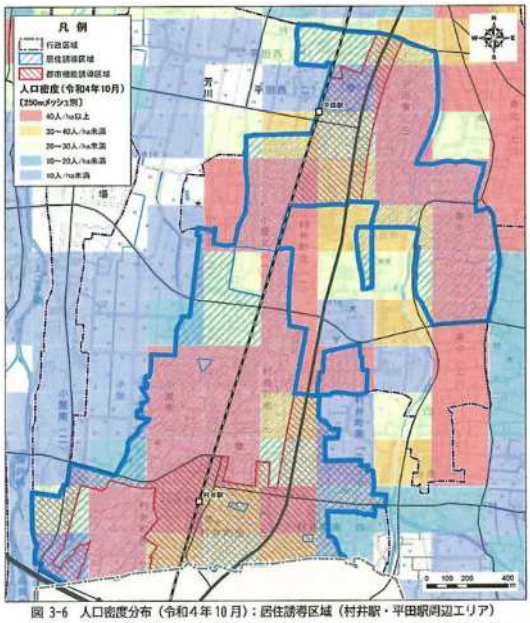


図 3-6 人口密度分布（令和４年 10 月）：居住誘導区域（村井駅・平田駅周辺エリア）
資料：松本市「住民基本台帳人口 250m メッシュデータ（令和４年 10 月）」再編加工

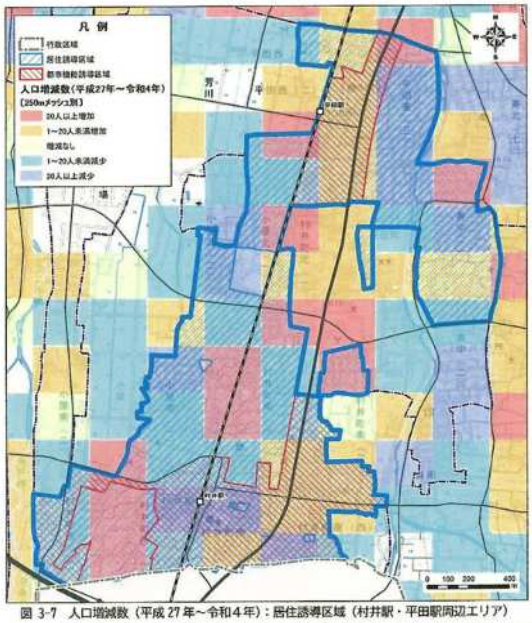


図 3-7 人口増減数（平成 27 年～令和４年）：居住誘導区域（村井駅・平田駅周辺エリア）
資料：松本市「住民基本台帳人口 250m メッシュデータ（平成 27 年 10 月、令和４年 10 月）」再編加工

表 3-4 人口動向と現行計画の目標設定：居住誘導区域（村井駅・平田駅周辺エリア）

	実績値(住基人口)		目標値(現行計画)	
	H27(2015 年)	R4(2022 年)	R17(2035 年)	目標の設定分類
人口	10,464 人	10,851 人	10,038 人	人口減少抑制
人口密度	41.7 人/ha	43.2 人/ha	40.0 人/ha	

※ 各年次の人口は、100mメッシュ別住基人口を用いた面積按分により算出

④　居住誘導区域（島内駅周辺エリア：106ha）

現行計画の目標設定では、平成27年（2015）の人口密度47.2人／ha（4,994人）を令和17年（2035）においても維持することを目標としています。
居住誘導区域（島内駅周辺エリア）における令和4年（2022年）の人口は4,755人、人口密度は44.9人/haで、平成27年（2015年）と比べると人口・人口密度は減少傾向となっています。

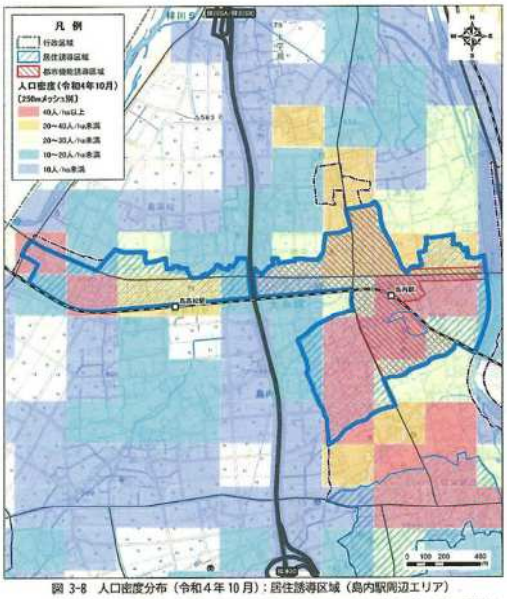
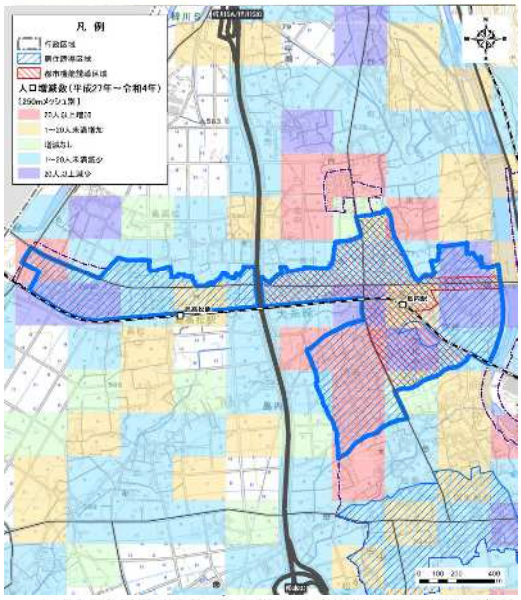


図 3-8　人口密度分布（令和４年 10 月）：居住誘導区域（島内駅周辺エリア）
資料：松本市「住民基本台帳人口 250m メッシュデータ（令和４年 10 月）」再編加工



資料：松本市「住民基本台帳人口 250m メッシュデータ（平成 27 年 10 月、令和４年 10 月）」再編加工

表 3-5　人口動向と現行計画の目標設定：居住誘導区域（島内駅周辺エリア）

	実績値（住基人口）		目標値（現行計画）	
	H27(2015 年)	R4(2022 年)	R17(2035 年)	目標の設定分類
人口	4,994 人	4,755 人	4,994 人	現状維持
人口密度	47.2 人/ha	44.9 人/ha	47.2 人/ha	

※ 各年次の人口は、100mメッシュ別住基人口を用いた面積按分により算出

⑤　居住誘導区域（波田駅周辺エリア：153ha）

現行計画の目標設定では、人口減少を抑制し、令和17年（2035）において人口密度35.0人/ha（5,340人）を目標としています。
居住誘導区域（村井・平田駅周辺エリア）における令和４年（2022）の人口は4,880人、人口密度は31.9人/haで、平成27年（2015）と比べると人口・人口密度は減少傾向となっています。

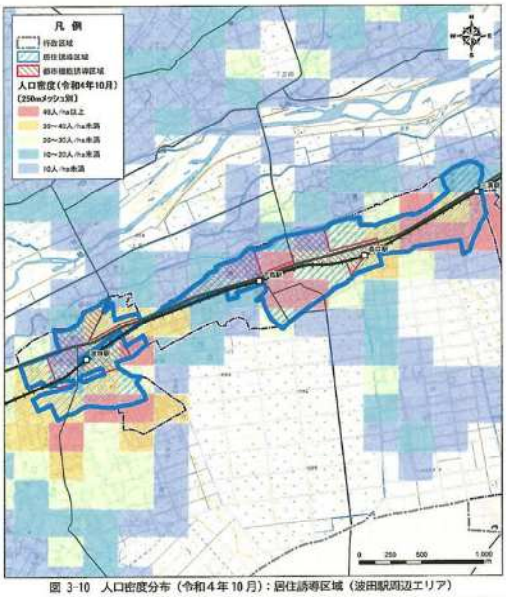


図 3-10　人口密度分布（令和４年 10 月）：居住誘導区域（波田駅周辺エリア）
資料：松本市「住民基本台帳人口 250m メッシュデータ（令和４年 10 月）」再編加工

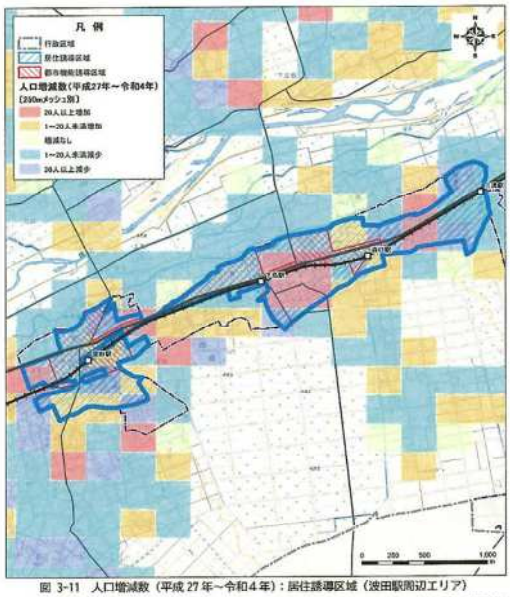


図 3-11　人口増減数（平成 27 年～令和４年）：居住誘導区域（波田駅周辺エリア）
資料：松本市「住民基本台帳人口 250m メッシュデータ（平成 27 年 10 月、令和４年 10 月）」再編加工

表 3-6　人口動向と現行計画の目標設定：居住誘導区域（波田駅周辺エリア）

	実績値（住基人口）		目標値（現行計画）	
	H27(2015 年)	R4(2022 年)	R17(2035 年)	目標の設定分類
人口	4,812 人	4,880 人	5,340 人	人口減少抑制
人口密度	31.5 人/ha	31.9 人/ha	35.0 人/ha	

※ 各年次の人口は、100mメッシュ別住基人口を用いた面積按分により算出

⑥　居住誘導区域（寿台・松原エリア：135ha）

現行計画の目標設定では、平成27年（2015）の人口密度59.3人／ha（7,977人）を令和17年（2035）においても維持することを目標としています。
居住誘導区域（寿台・松原エリア）における令和4年（2022）の人口は7,108人、人口密度は52.7人/haで、平成27年（2015）と比べると人口・人口密度は減少傾向となっています。

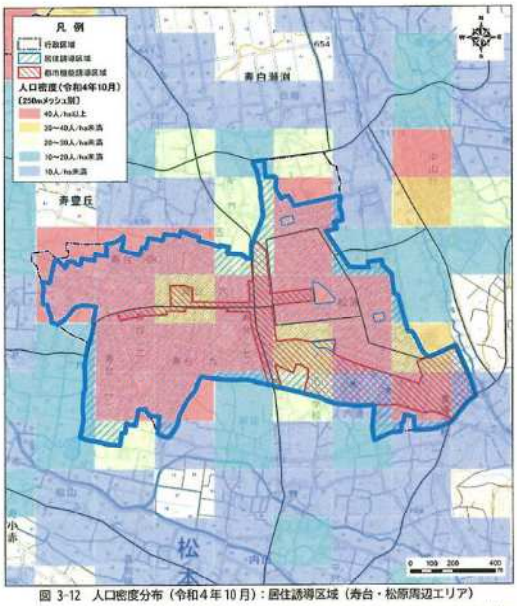


図 3-12　人口密度分布（令和4年10月）：居住誘導区域（寿台・松原周辺エリア）

資料：松本市「住民基本台帳人口 250m メッシュデータ（令和4年10月）」再編加工

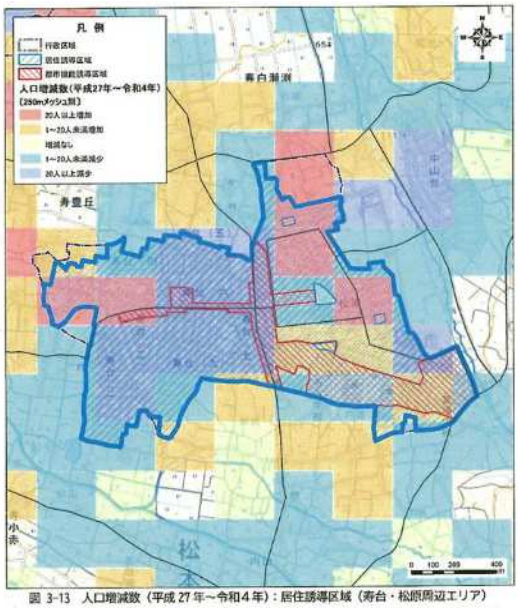


図 3-13　人口増減数（平成 27 年～令和 4 年）：居住誘導区域（寿台・松原周辺エリア）

資料：松本市「住民基本台帳人口 250m メッシュデータ（平成 27 年 10 月、令和 4 年 10 月）」再編加工

表 3-7　人口動向と現行計画の目標設定：居住誘導区域（寿台・松原周辺エリア）

	実績値（住基人口）		目標値（現行計画）	
	H27(2015 年)	R4(2022 年)	R17(2035 年)	目標の設定分類
人口	7,977 人	7,108 人	7,977 人	現状維持
人口密度	59.3 人/ha	52.7 人/ha	59.3 人/ha	

※ 各年次の人口は、100mメッシュ別住基人口を用いた面積按分により算出

1.　誘導区域内における転入転出状況

直近４年間（H30.10.1～R4.9.30）における居住誘導区域内の転入転出状況をみると、「中心市街地・信州大学周辺エリア」、「村井駅・平田駅周辺エリア」、「南松本駅エリア」では転入超過となっています。その一方、「島内駅周辺エリア」、「波田駅周辺エリア」、「寿台・松原周辺エリア」では、転出超過となっています。
また、都市機能誘導区域内の転入転出状況をみると、「中心市街地」、「南松本駅周辺」、「村井駅周辺」、「平田駅周辺」、「島内駅周辺」では転入超過となっており、「信州大学周辺」、「波田駅周辺」、「寿台・松原周辺」では転出超過となっています。

【居住誘導区域別】転入転出状況(H30.10.1～R4.9.30

区分	転入 [a]（人）			転出 [b]（人）			移動増減数 [a]-[b]（人）			<参考>
	市内他区域から転入	市外から転入	合計	市内他区域へ転出	市外へ転出	合計	市内移動	市外移動	合計	同一区域内での移動（人）
中心市街地・信州大学周辺エリア	4,869	11,542	16,411	4,294	10,925	15,219	175	617	792	4,518
南松本駅周辺エリア	1,221	1,534	2,755	1,095	1,657	2,752	126	120	3	284
村井駅・平田駅周辺エリア	1,079	2,357	3,436	1,241	2,237	3,478	138	120	258	241
島内駅周辺エリア	549	894	1,443	667	874	1,541	-118	20	-98	192
波田駅周辺エリア	405	577	1,082	513	601	1,114	-29	-24	-53	182
寿台・松原周辺エリア	769	754	1,523	925	866	1,791	-56	-112	-168	445
居住誘導区域 内	8,883	17,658	26,541	8,961	16,940	25,901	237	718	955	6,201
居住誘導区域 外	6,723	14,925	21,648	7,140	14,068	21,208	-417	857	440	7,772
市街化区域	9,473	26,583	36,056	9,653	31,008	34,661	-180	1,575	1,395	26,201
市街化調整区域	3,582	5,010	8,592	3,237	5,843	8,880	345	-833	-288	2,992
都市計画区域 内　[A]	390	37,593	37,983	225	36,651	36,876	165	942	1,107	35,528
都市計画区域 外　[B]	225	584	809	390	692	1,082	-165	-108	-273	248
市全体 [A+B]		38,177			37,343		0	834	834	

資料：松本市「都市構造の可視化分析業務委託報告書(R5.3)」再編加工
※「居住誘導区域外」とは、市街化区域のうち居住誘導区域に指定されていない区域とする。

【都市機能誘導区域別】転入転出状況(H30.10.1～R4.9.30)

区分	転入 [a]（人）			転出 [b]（人）			移動増減数 [a]-[b]（人）			<参考>
	市内他区域から転入	市外から転入	合計	市内他区域へ転出	市外へ転出	合計	市内移動	市外移動	合計	同一区域内での移動（人）
中心市街地	1,397	2,935	4,332	1,358	2,733	4,091	39	202	241	599
信州大学周辺	251	591	842	264	613	877	-13	-22	-35	62
南松本駅周辺	778	634	1,412	528	681	1,209	250	-47	203	137
村井駅周辺	224	491	715	317	369	686	-93	122	29	40
平田駅周辺	95	102	197	73	82	155	22	20	42	7
島内駅周辺	282	301	563	271	280	551	-9	21	12	41
波田駅周辺	85	98	183	90	114	204	-5	-16	-21	8
寿台・松原周辺	80	71	151	129	81	210	-49	-10	-59	12
都市機能誘導区域 内	2,966	5,223	8,189	2,824	4,953	7,777	142	270	412	1,112
都市機能誘導区域 外	5,469	27,360	32,829	5,791	26,055	31,846	-322	1,305	983	20,127
市街化区域	3,473	32,583	36,056	3,653	31,008	34,661	-180	1,575	1,395	26,201
市街化調整区域	3,582	5,010	8,592	3,237	5,843	8,880	345	-833	-288	2,992
都市計画区域 内　[A]	390	37,593	37,983	225	36,851	36,876	165	942	1,107	35,528
都市計画区域 外　[B]	225	584	809	390	692	1,082	-165	-108	-273	248
市全体 [A+B]		38,177			37,343		0	834	834	

資料：松本市「都市構造の可視化分析業務委託報告書(R5.3)」再編加工

※「都市機能誘導区域外」とは、市街化区域のうち都市機能誘導区域に指定されていない区域とする。

都市機能誘導区域における取組状況

（凡例）○：実施　△：検討中（一部実施）　－：未実施

ア	都市機能誘導区域における取組み		
	（ア）　都市計画制度の運用（立地適正化計画に即した都市計画の見直し等）		
	項目	実施状況（○、△、－）及び内容	
	●用途地域等の地域地区の見直し	○	信州大学周辺の用途地域変更（一中高→二住）（R3）
	●必要に応じた都市計画の見直し	○	信州大学キャンパス地区計画の決定（緩和型地区計画）（R3）
	●都市施設の変更	○	都市計画道路の見直し（一部廃止）（R1～R4）
	（イ）　既存施策・国の制度等の活用		
	●誘導施設の整備	○	高等学校・本社機能の移転、基幹博物館の統合・整備(H30～)
	●公有地や公共施設を活用した誘導施設の誘導等	－	
	（ウ）　空き家・空き地等の活用		
	●低未利用土地権利設定等促進制度の活用	－	
	●立地誘導促進施設協定制度等の活用	－	
	●その他	○	三の丸エリアビジョンの策定・推進(R4～)
イ	居住誘導区域における取組み		
	（ア）　公有地や公共用地の活用		
	項目	実施状況（○、△、－）及び内容	
	●公有地（誘導区域内）の居住誘導	－	
	●公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の再編	－	
	（イ）　既存施策の活用		
	●既存制度（住宅ﾘﾌｫｰﾑ支援等）による居住誘導	－	（新生活支援事業補助金，固定資産税の減免）
	（ウ）　居住誘導に向けた金融支援措置		
	●居住誘導に向けた金利優遇ローン等支援策	－	
	（エ）　居住地選択の判断材料となる地図情報等の公開		
	●居住地判断材料のウェブサイトへの公開	△	松本デジタルマップの公開(R4)
	●都市構造の可視化・分析	○	都市構造可視化分析の実施（H30、R4）
	（オ）　空き家・空き地等の活用		
	●空き家等を活用した居住等の誘導	○	松本市空き家バンクの運用
	●国の空き家利活用等支援制度の活用	○	空き家バンク利活用促進事業補助金（空き家リフォーム）
ウ	交通政策等と連携する取組み／公共交通網の維持・強化		
	（ア）　駐車場配置の適正化		
	項目	実施状況（○、△、－）及び内容	
	●駐車場配置適正化区域の設定	○	駐車場配置適正化区域の設定、条例化（R2）
	（イ）　歩行者空間等の充実		
	●歩行者・自転車が利用しやすい空間へ改善	○	ほこみち制度の活用(R5)、自転車活用推進計画の策定(R3)
	（ウ）　コンパクト・プラス・ネットワークに対応した将来道路網の構築		
	●環状放射型道路網の構築	○	第７次道路整備５箇年計画の策定、道路整備の実施(R5)
	（エ）　公共交通の路線再編		
	●中心市街地路線・地域公共交通の再編	○	地域公共交通計画の策定(R3)、路線バスの公設民営化(R5)

見直しの内容

⑴　誘導区域

　市街化区域に編入した上村井地区、東方地区、和田西原地区を居住誘導区域に追加します。また、都市計画変更のあった部分を修正します。

⑵　誘導施設

　都市機能誘導区域に誘導すべき施設について、法令・関連計画の更新等により内容を修正します。

⑶　防災指針

　居住誘導区域における災害リスクを回避・低減するため、必要な防災・減災対策と具体的な取組みをまとめ、防災指針として新たに追加します。

居住誘導区域内の人口・人口密度

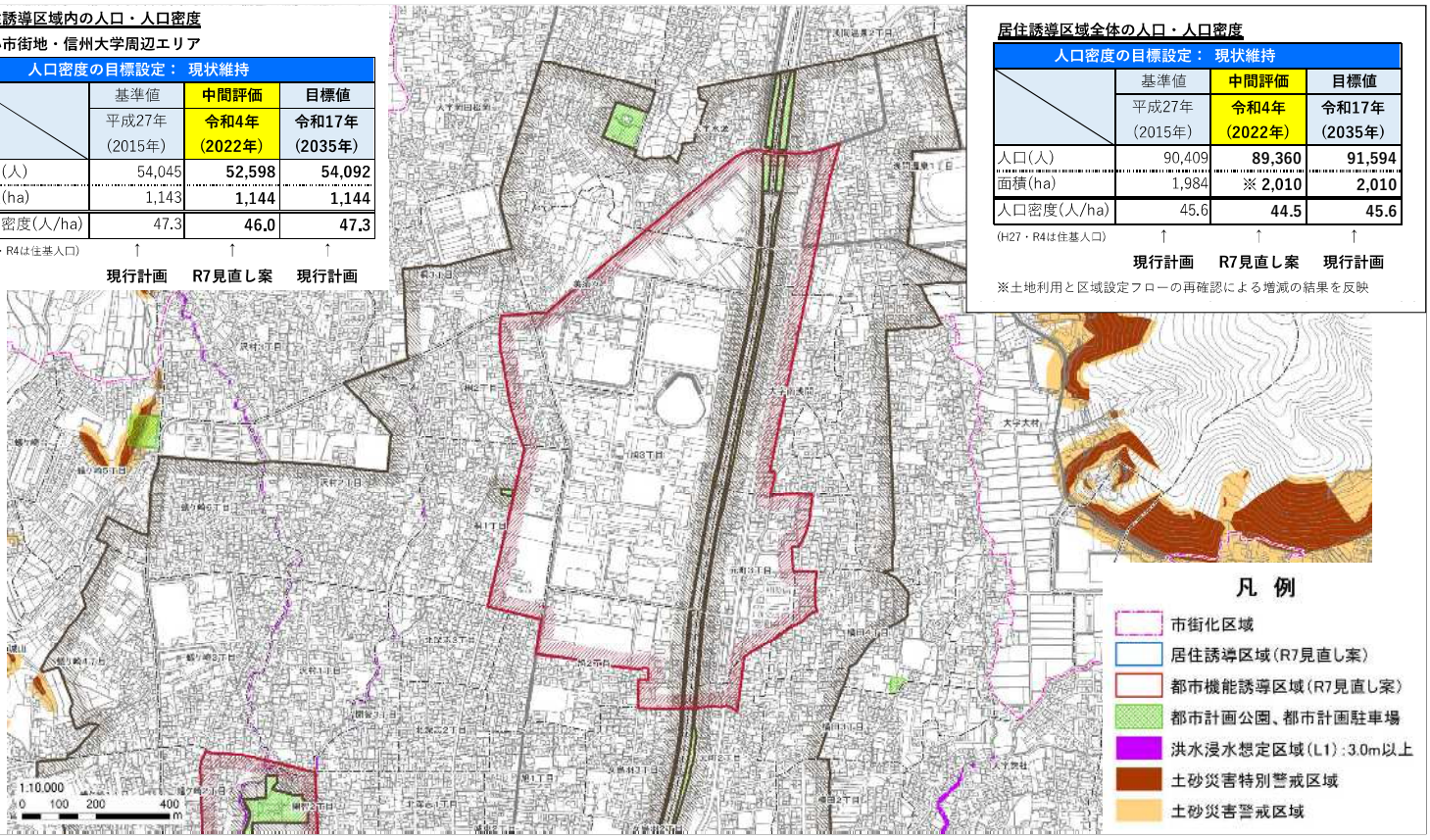
中心市街地・信州大学周辺エリア

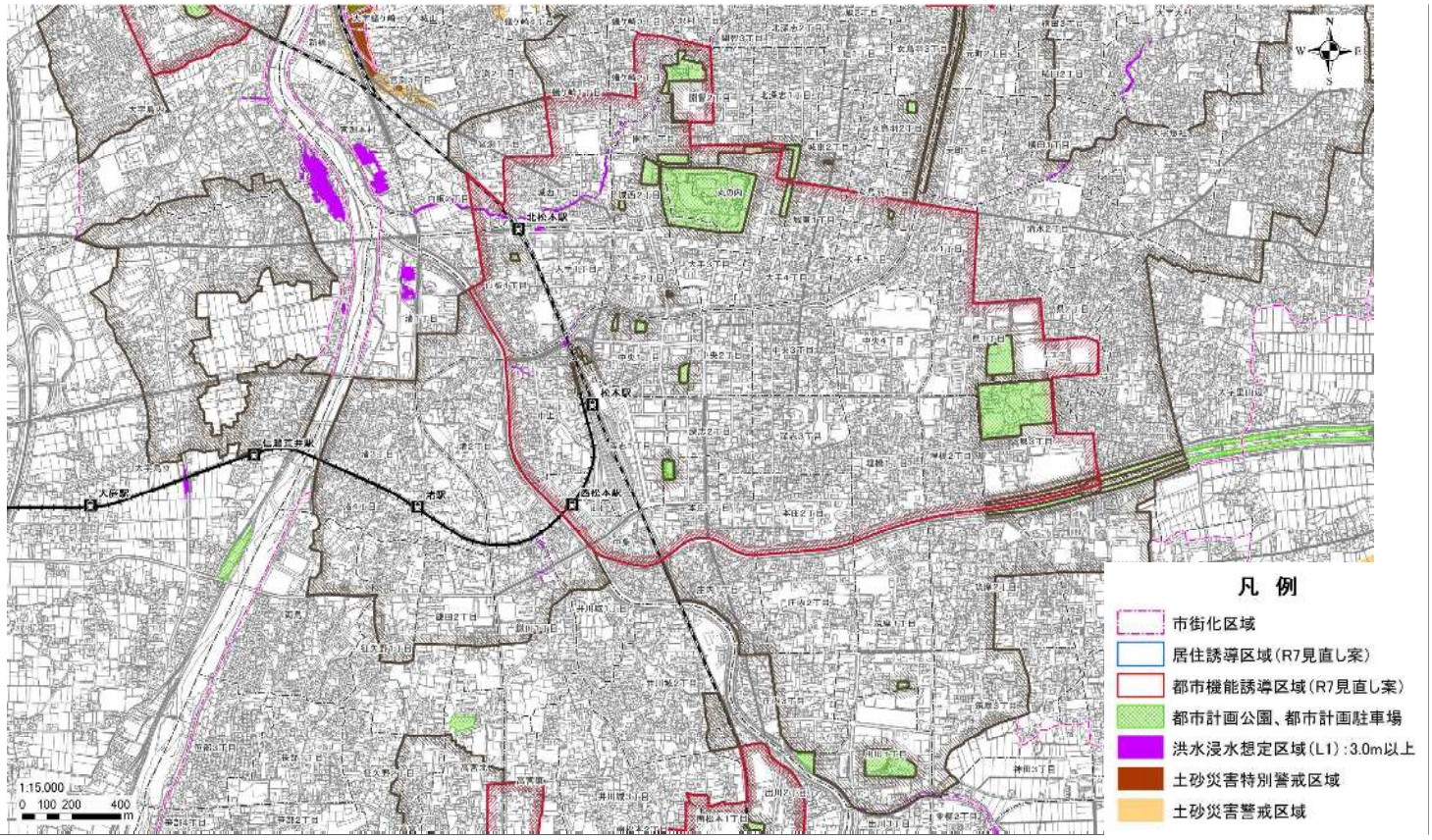
人口密度の目標設定： 現状維持			
	基準値	中間評価	目標値
	平成27年（2015年）	令和4年（2022年）	令和17年（2035年）
人口(人)	54,045	52,598	54,092
面積(ha)	1,143	1,144	1,144
人口密度(人/ha)	47.3	46.0	47.3
(H27・R4は住基人口)	↑	↑	↑
	現行計画	R7見直し案	現行計画

居住誘導区域全体の人口・人口密度

人口密度の目標設定： 現状維持			
	基準値	中間評価	目標値
	平成27年（2015年）	令和4年（2022年）	令和17年（2035年）
人口(人)	90,409	89,360	91,594
面積(ha)	1,984	※ 2,010	2,010
人口密度(人/ha)	45.6	44.5	45.6
(H27・R4は住基人口)	↑	↑	↑
	現行計画	R7見直し案	現行計画

※土地利用と区域設定フローの再確認による増減の結果を反映

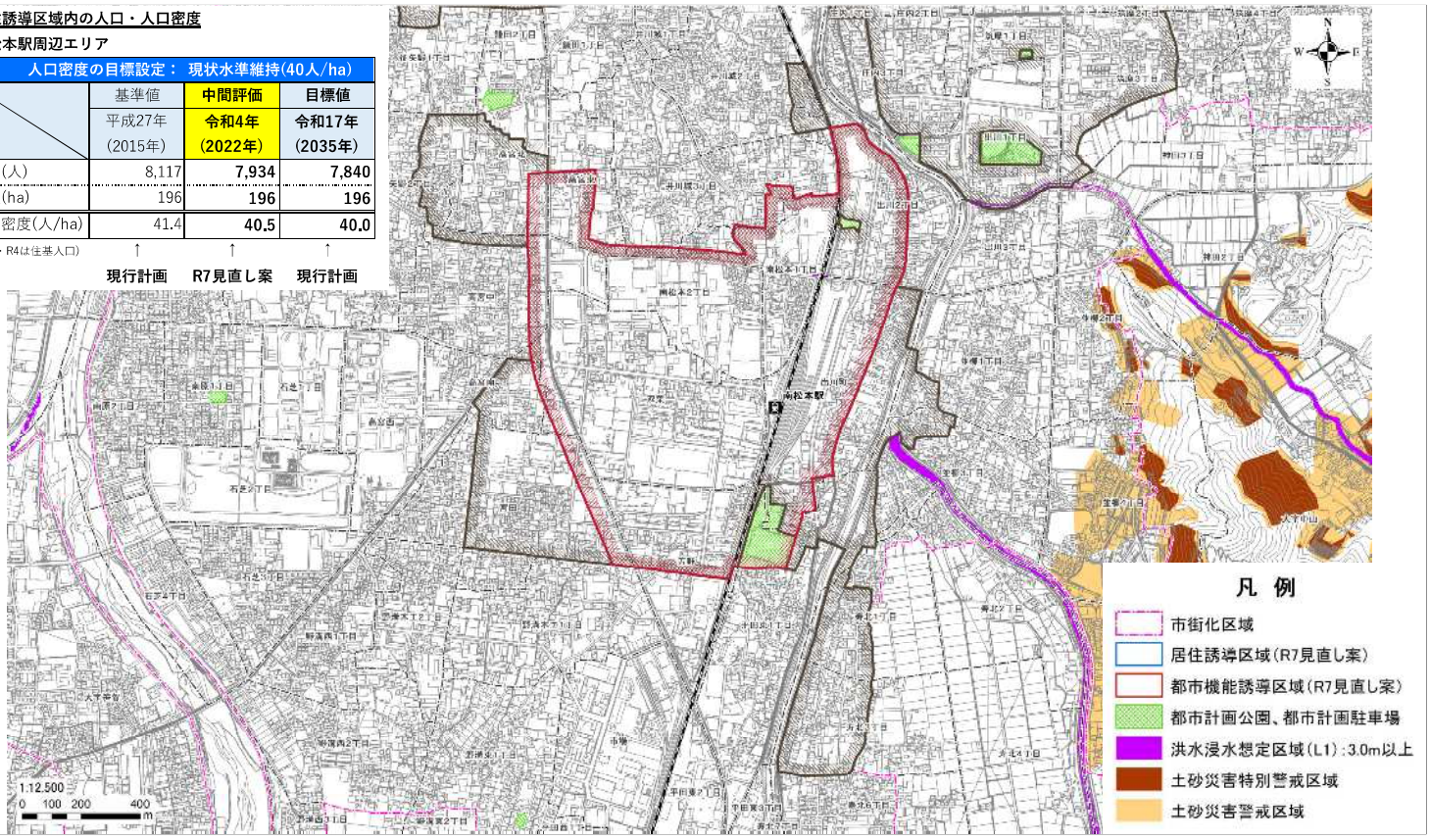




居住誘導区域内の人口・人口密度

南松本駅周辺エリア

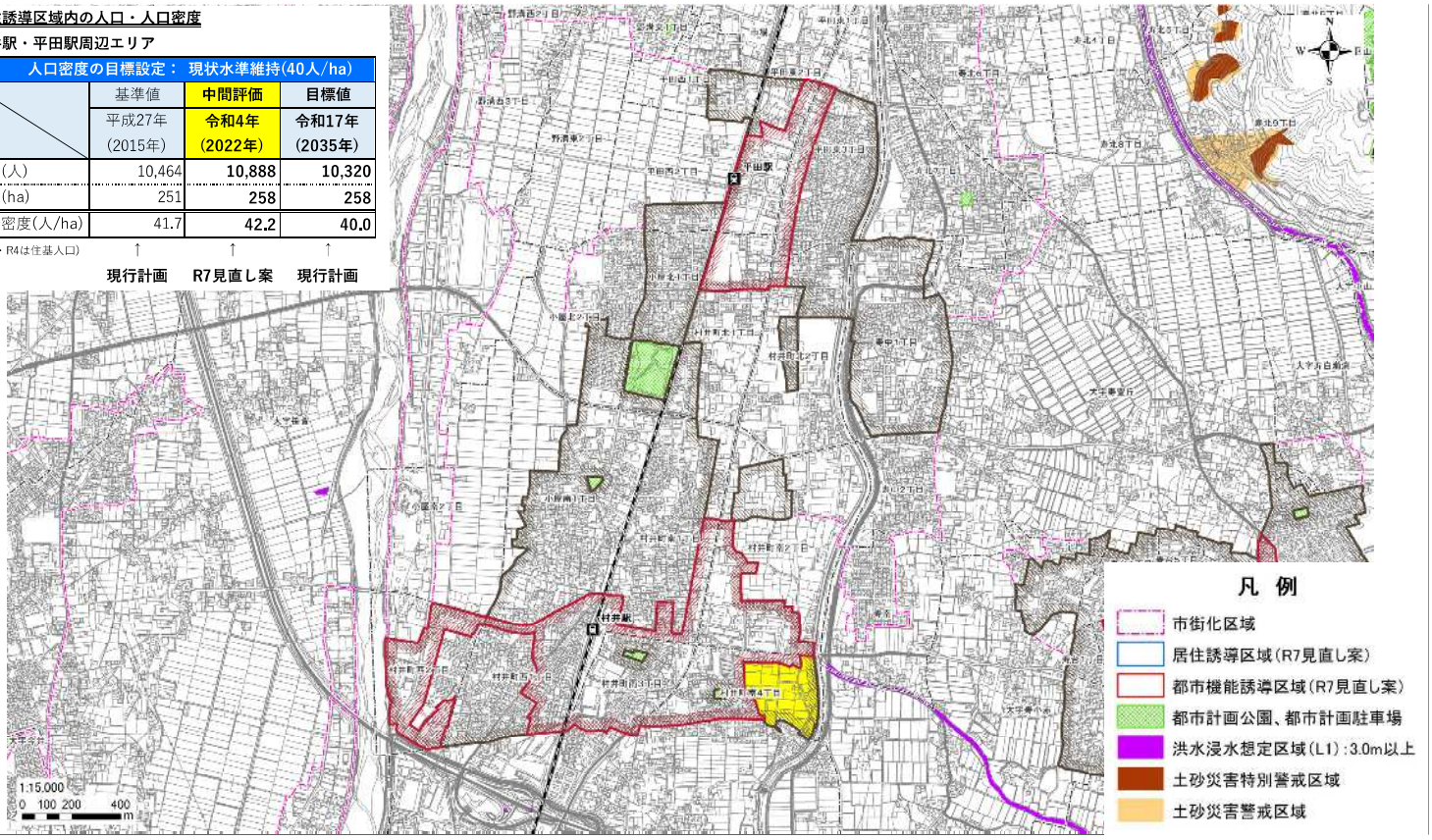
人口密度の目標設定： 現状水準維持(40人/ha)			
	基準値	中間評価	目標値
	平成27年 (2015年)	令和4年 (2022年)	令和17年 (2035年)
人口(人)	8,117	7,934	7,840
面積(ha)	196	196	196
人口密度(人/ha)	41.4	40.5	40.0
(H27・R4は住基人口)	↑	↑	↑
	現行計画	R7見直し案	現行計画

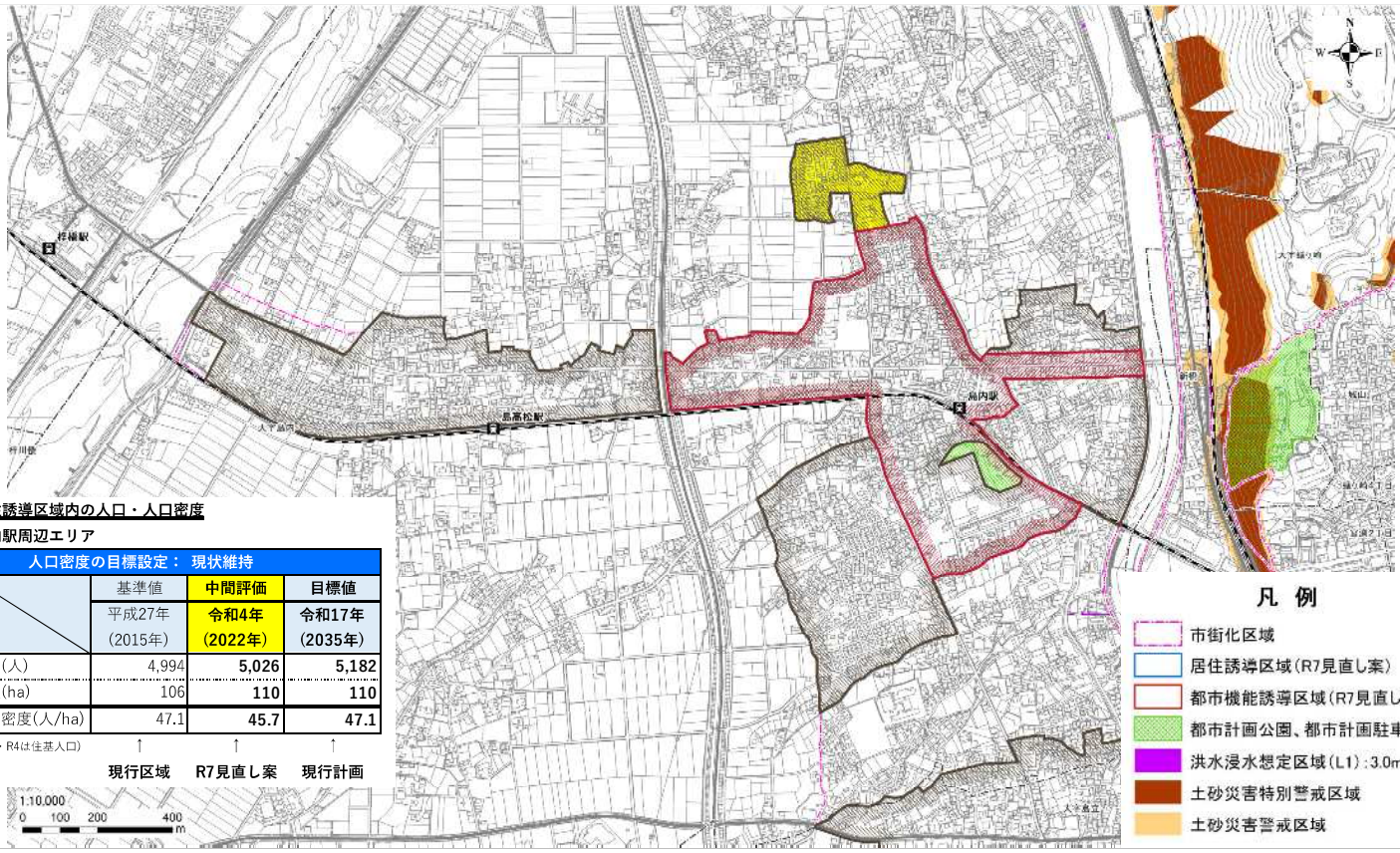


居住誘導区域内の人口・人口密度

村井駅・平田駅周辺エリア

人口密度の目標設定： 現状水準維持(40人/ha)			
	基準値	中間評価	目標値
	平成27年 (2015年)	令和4年 (2022年)	令和17年 (2035年)
人口(人)	10,464	10,888	10,320
面積(ha)	251	258	258
人口密度(人/ha)	41.7	42.2	40.0
(H27・R4は住基人口)	↑	↑	↑
	現行計画	R7見直し案	現行計画





居住誘導区域内の人口・人口密度

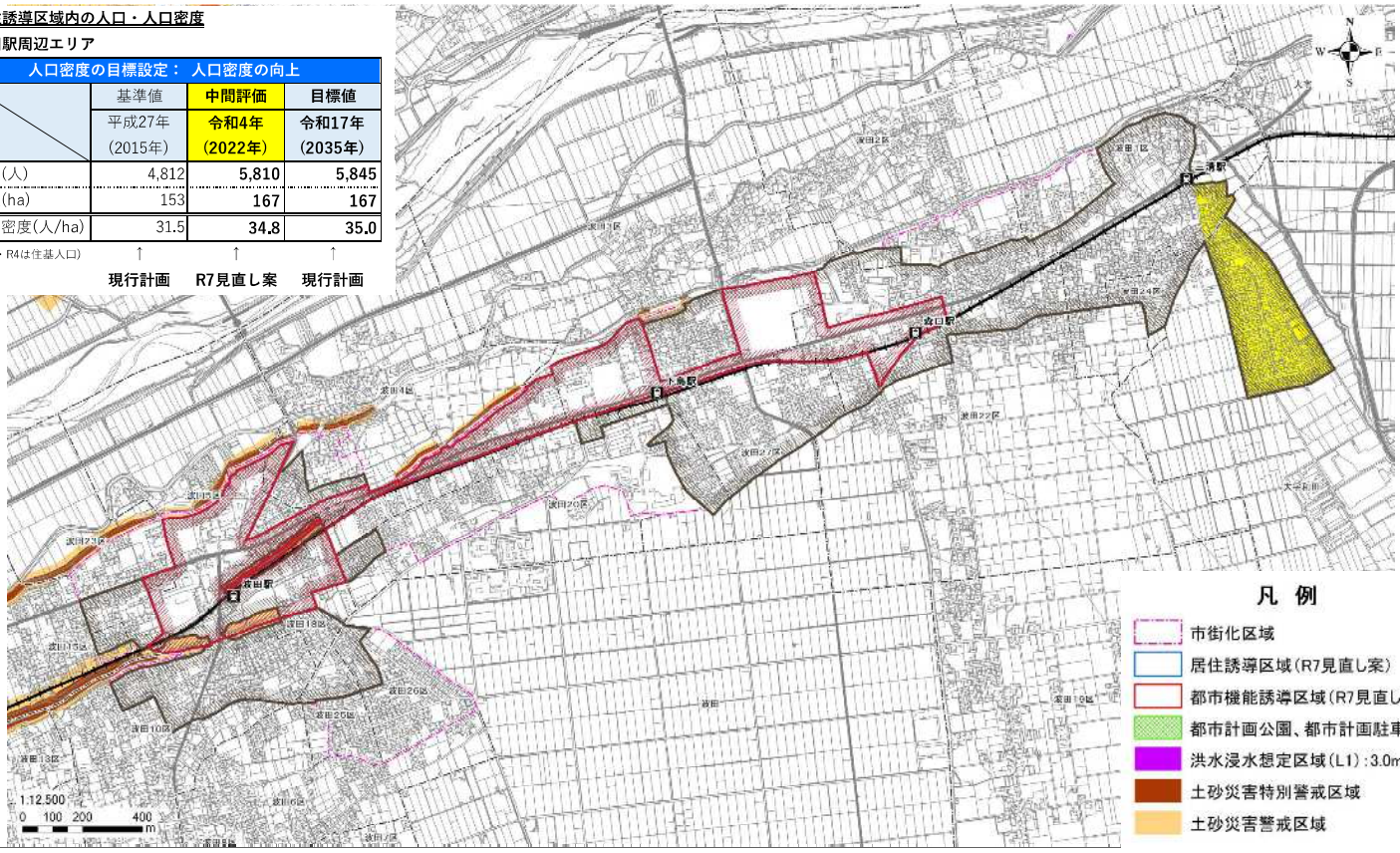
島内駅周辺エリア

人口密度の目標設定： 現状維持			
	基準値	中間評価	目標値
	平成27年 (2015年)	令和4年 (2022年)	令和17年 (2035年)
人口(人)	4,994	5,026	5,182
面積(ha)	106	110	110
人口密度(人/ha)	47.1	45.7	47.1
(H27・R4は住基人口)	↑	↑	↑
	現行区域	R7見直し案	現行計画

居住誘導区域内の人口・人口密度

波田駅周辺エリア

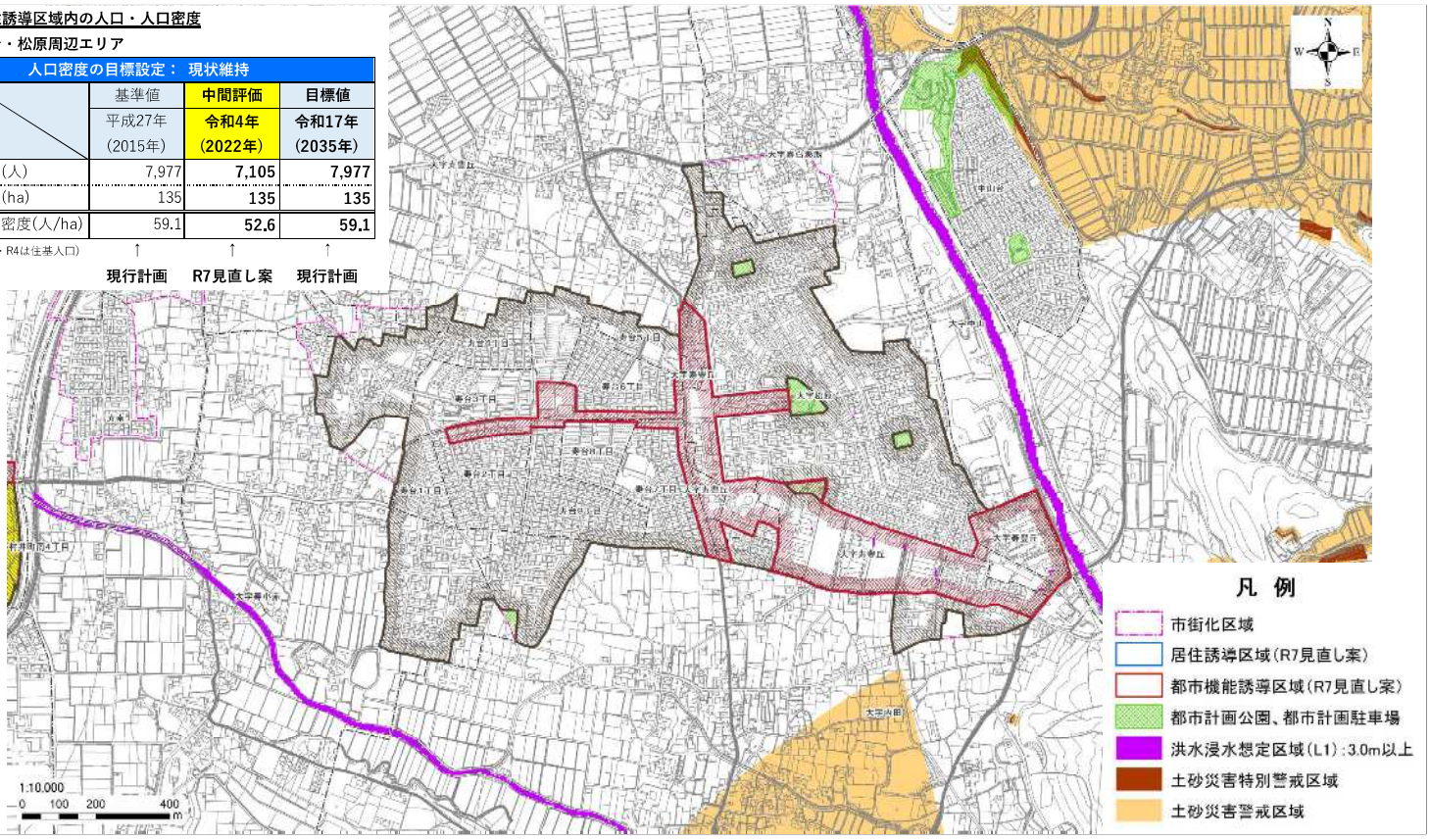
人口密度の目標設定： 人口密度の向上			
	基準値	中間評価	目標値
	平成27年 (2015年)	令和4年 (2022年)	令和17年 (2035年)
人口(人)	4,812	5,810	5,845
面積(ha)	153	167	167
人口密度(人/ha)	31.5	34.8	35.0
(H27・R4は住基人口)	↑	↑	↑
	現行計画	R7見直し案	現行計画



居住誘導区域内の人口・人口密度

寿台・松原周辺エリア

人口密度の目標設定： 現状維持			
	基準値	中間評価	目標値
	平成27年（2015年）	令和4年（2022年）	令和17年（2035年）
人口(人)	7,977	7,105	7,977
面積(ha)	135	135	135
人口密度(人/ha)	59.1	52.6	59.1
(H27・R4は住基人口)	↑	↑	↑
	現行計画	R7見直し案	現行計画

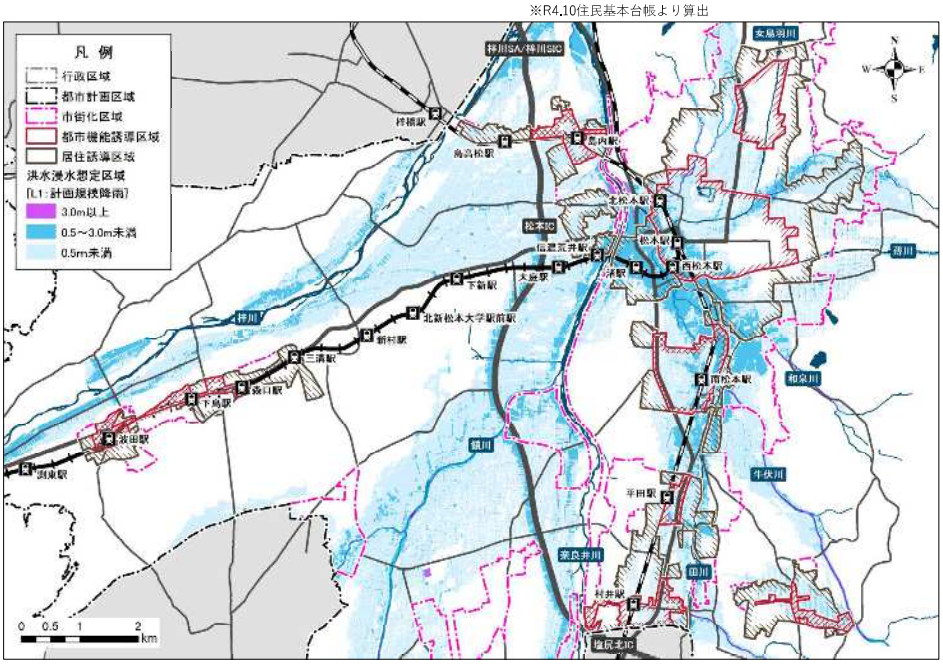


災害種別	災害ハザード情報		根拠法	指定状況 行政区域（松本市）	市街化区域	居住誘導区域	都市機能誘導区域
水害	多段階の浸水想定図	1/10 降雨規模 － 現況河道	—	—	—	—	—
		1/50 降雨規模 － 現況河道	—	—	—	—	—
	洪水浸水想定区域	計画規模降雨（1/100）	水防法	指定あり	指定あり	**指定あり**	**指定あり**
		想定最大規模降雨（1/1000）	水防法	指定あり	指定あり	**指定あり**	**指定あり**
	家屋倒壊等氾濫想定区域		水防法	指定あり	指定あり	**指定あり**	**指定あり**
	雨水出水(内水)浸水想定区域		水防法	—	—	—	—
	都市浸水想定		特定都市河川浸水被害対策法	—	—	—	—
土砂災害	土砂災害警戒区域		土砂災害防止法	指定あり	指定あり	**指定なし（除外）**	**一部指定あり（原則除外）**
	土砂災害特別警戒区域			指定あり	指定あり	**指定なし（除外）**	**指定なし（除外）**
	急傾斜地崩壊危険区域		急傾斜地法	指定あり	指定なし	**指定なし**	**指定なし**
	地すべり防止区域		地すべり等防止法	指定あり	指定なし	**指定なし**	**指定なし**
震災	建物倒壊危険度（災害危険度判定調査結果）		—	調査実施済（主に市街化区域）	調査実施済（主に市街化区域）	**調査実施済（主に市街化区域）**	**調査実施済（主に市街化区域）**
	延焼危険度（災害危険度判定調査結果）		—				
その他	大規模盛土造成地		—	指定あり	指定あり	**指定なし**	**指定なし**

洪水浸水想定区域（L1：計画規模降雨）の指定状況

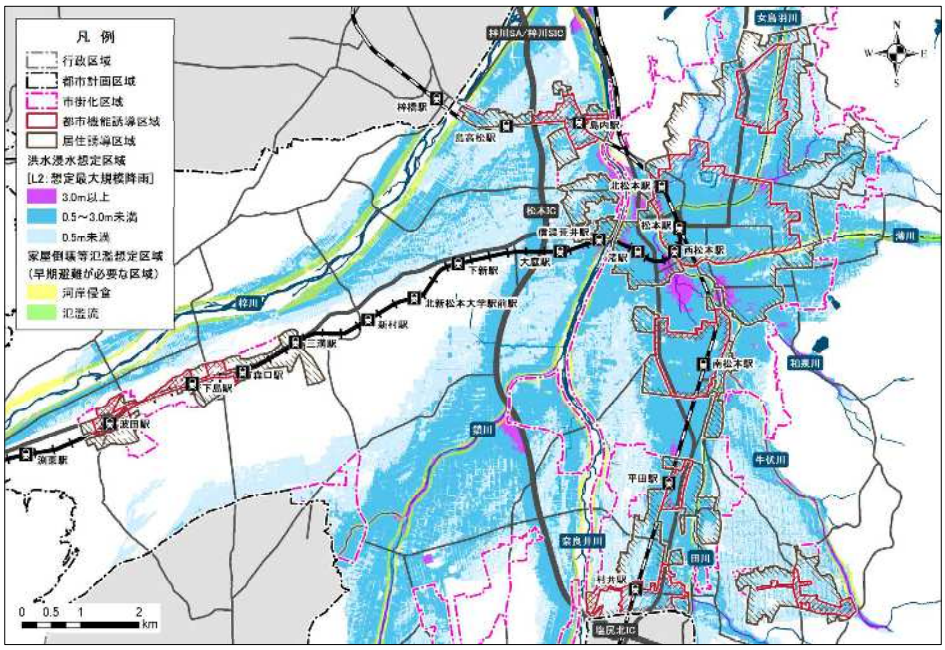
				居住誘導区域全体
居住誘導区域内人口 [R4※]				89,360人
水害	洪水浸水想定区域 [L1:計画規模降雨]	浸水深3.0m未満	居住人口	45,388人
			割合	50.8%
		浸水深3.0m以上	居住人口	0人
			割合	0.0%

※R4.10住民基本台帳より算出



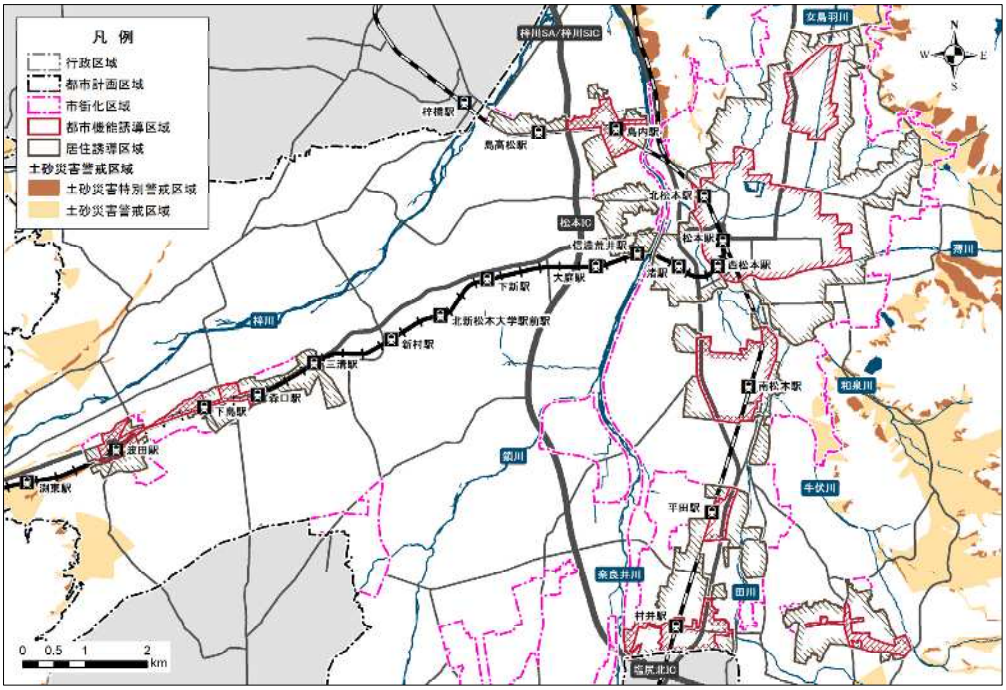
洪水浸水想定区域（L2：想定最大規模降雨）の指定状況

				居住誘導区域全体
居住誘導区域内人口 [R4]				89,360人
水害	洪水浸水想定区域 [L2:想定最大規模降雨]	浸水深3.0m未満	居住人口	73,954人
			割合	82.8%
		浸水深3.0m以上	居住人口	2,112人
			割合	2.4%



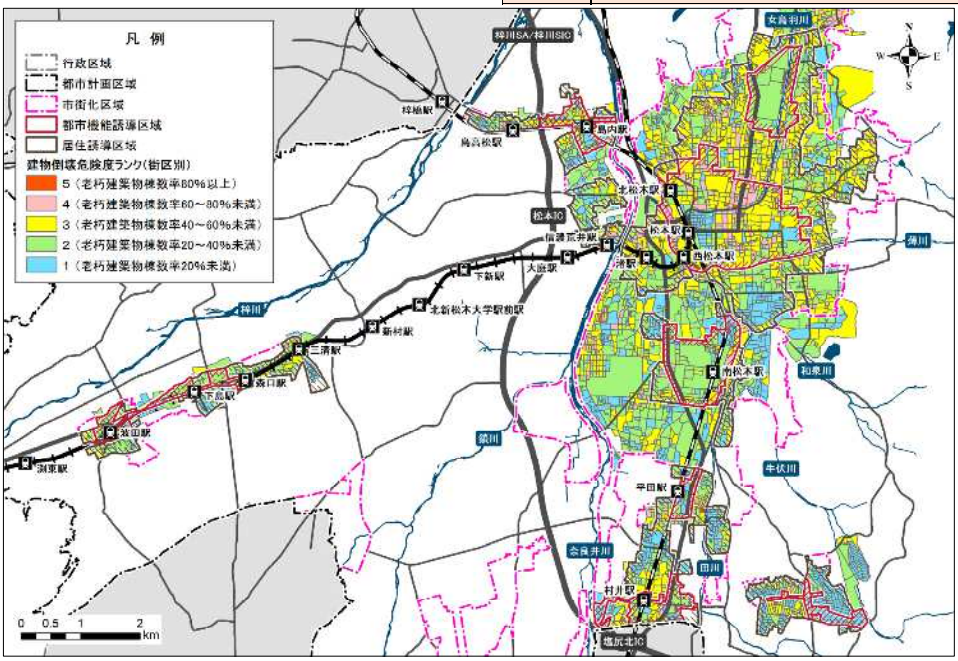
土砂災害警戒区域の指定状況

			居住誘導区域全体
居住誘導区域内人口 [R4]			89,360人
土砂災害	土砂災害警戒区域	居住人口	0人
		割合	0.0%



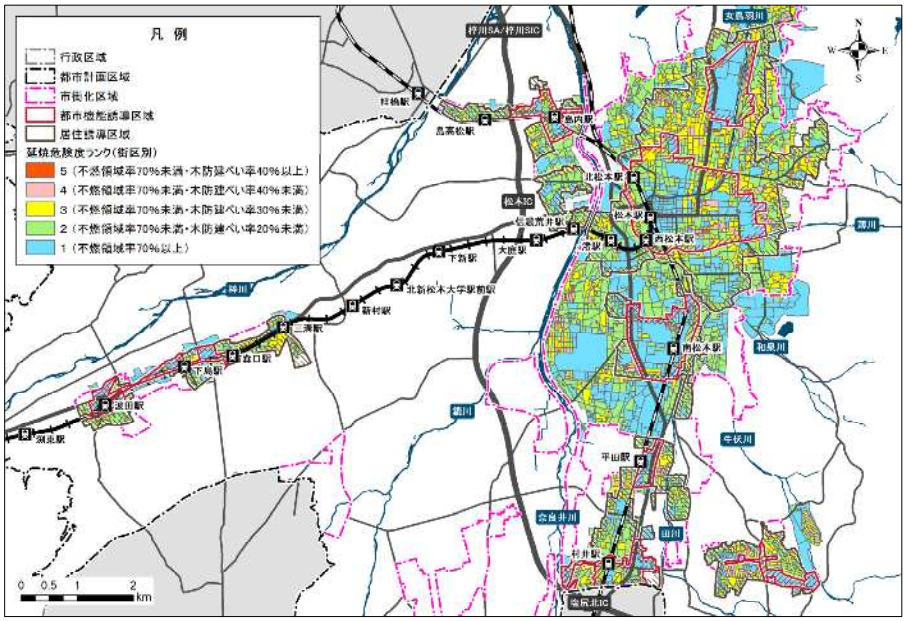
建物倒壊危険度（災害危険度判定調査結果）

			居住誘導区域全体
居住誘導区域内人口 [R4]			89,360人
震災	建物倒壊危険度［ランク別の街区数の割合］ ※面積の過半が誘導区域に該当する街区を対象として集計	ランク5	2.9%
		ランク4	12.7%
		ランク3	31.4%
		ランク2	24.8%
		ランク1	28.3%

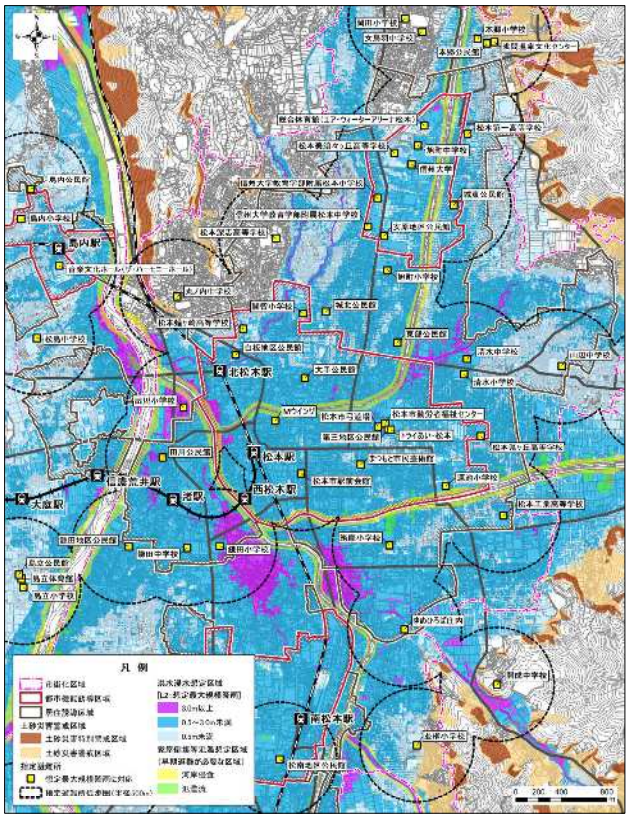


延焼危険度（災害危険度判定調査結果）

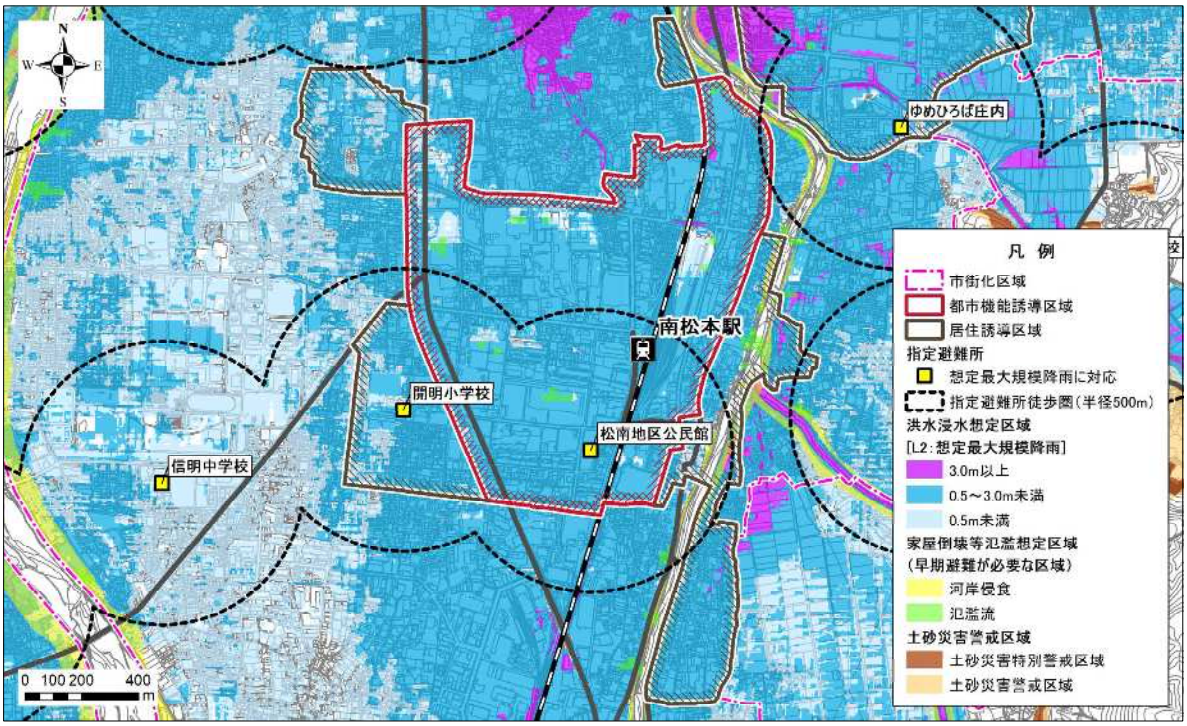
			居住誘導区域全体
居住誘導区域内人口 [R4]			89,360人
震災	延焼危険度［ランク別の街区数の割合］ ※面積の過半が誘導区域に該当する街区を対象として集計	ランク5	2.0%
		ランク4	10.4%
		ランク3	26.9%
		ランク2	41.4%
		ランク1	19.2%



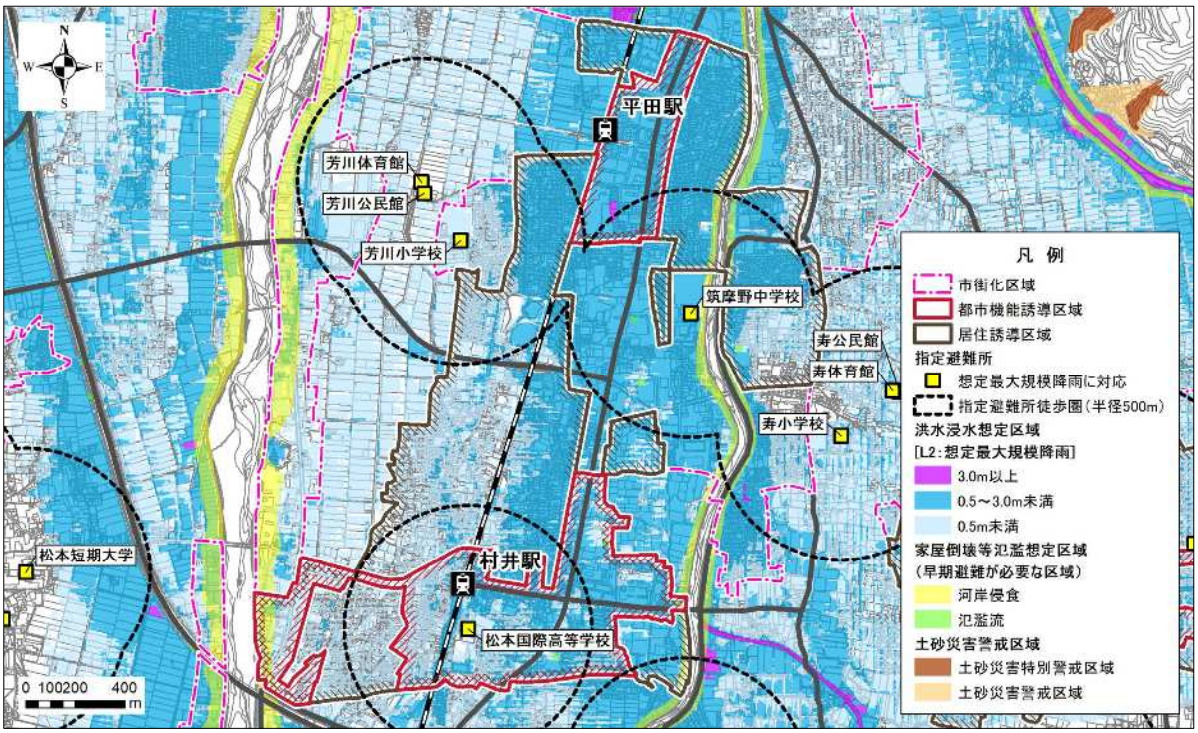
中心市街地・
信州大学周辺エリア



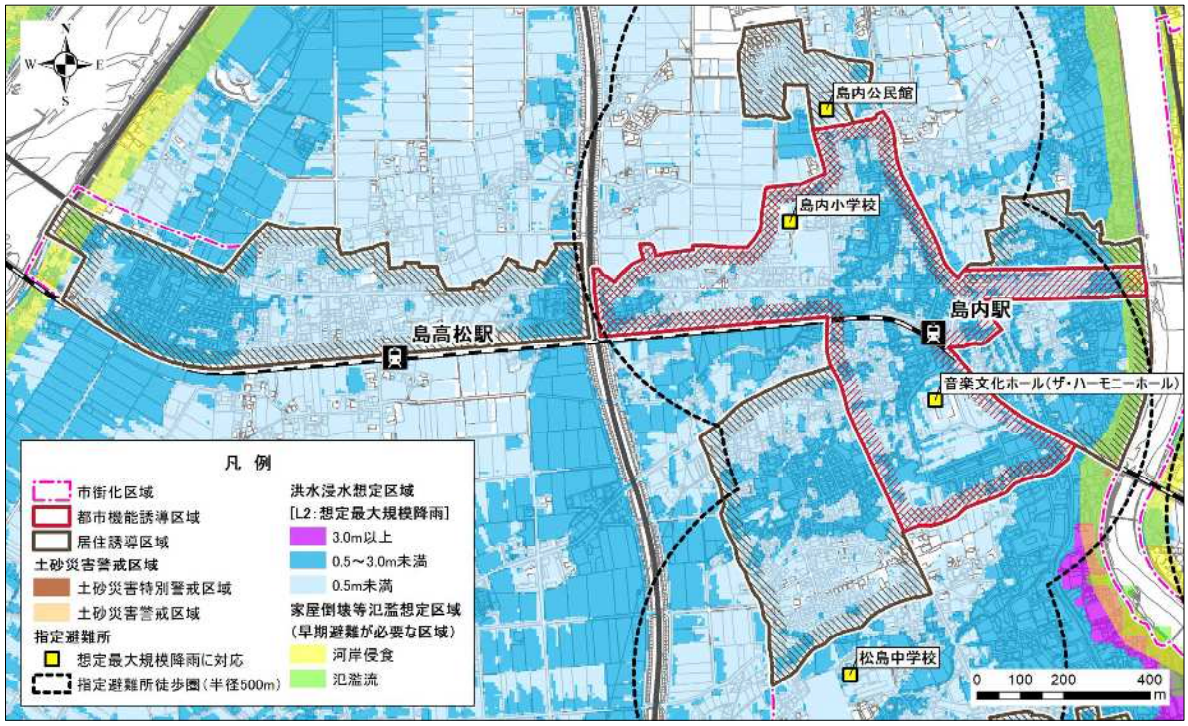
南松本駅周辺エリア



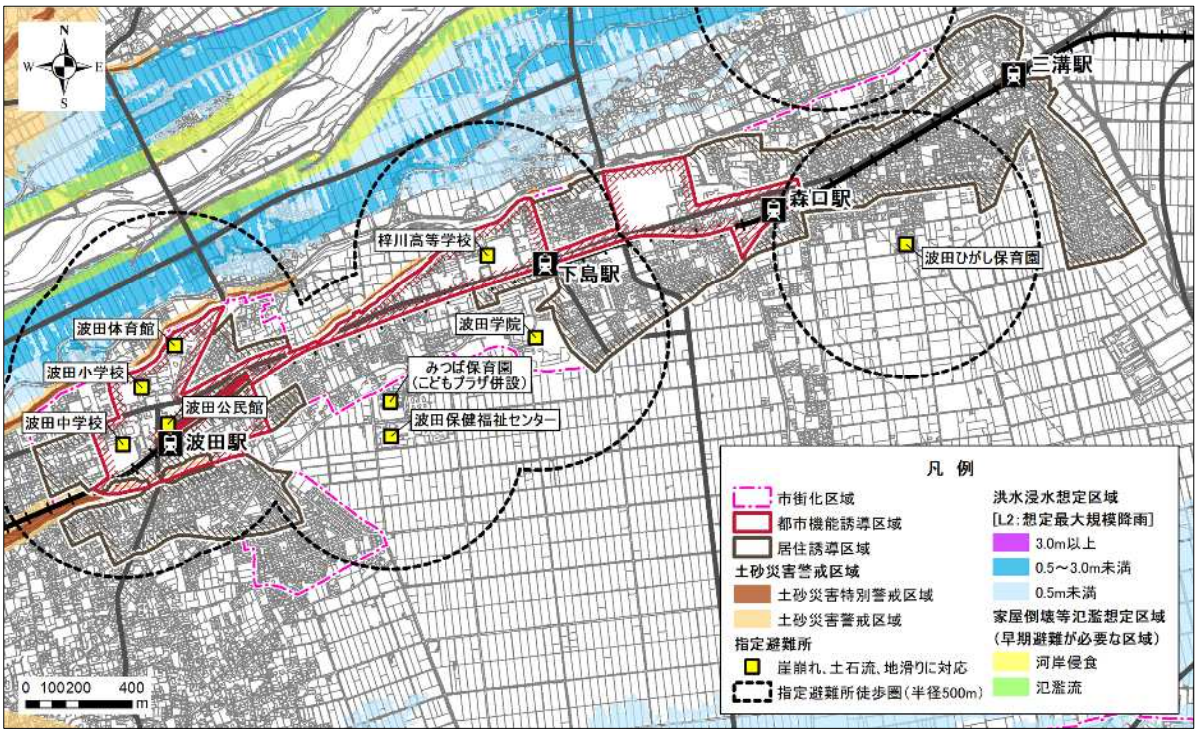
村井駅・平田駅周辺エリア



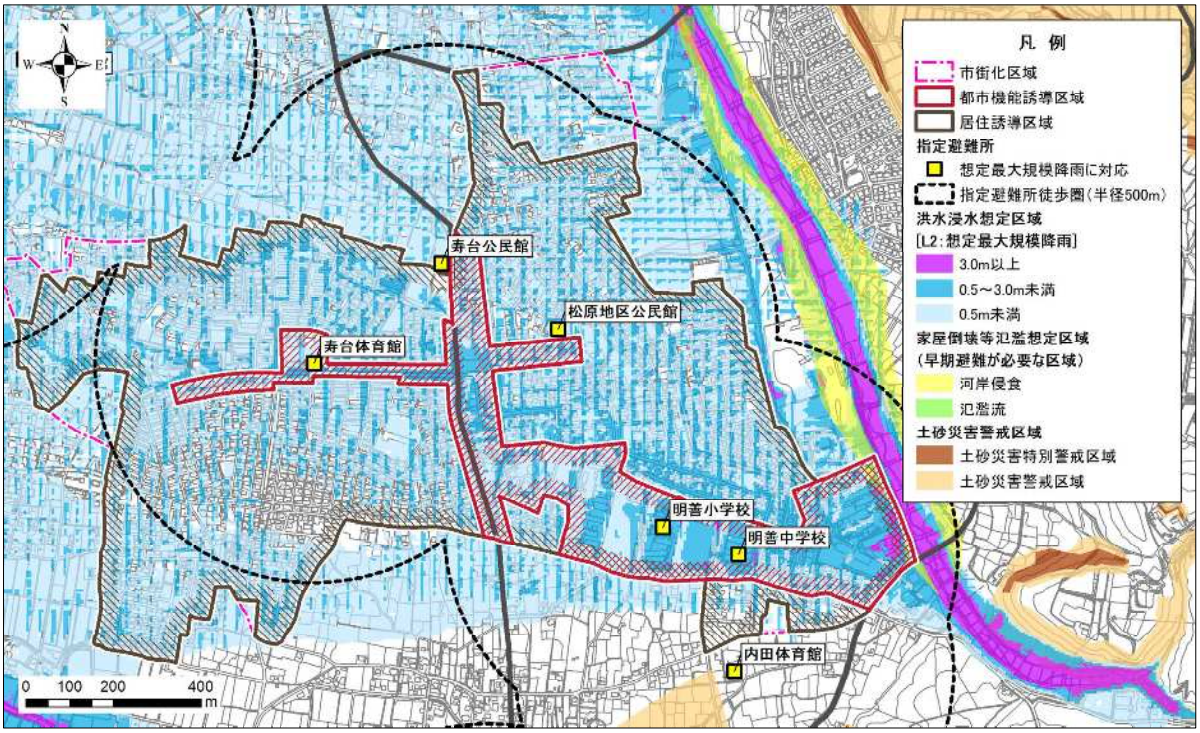
島内駅周辺エリア



波田駅周辺エリア



寿台・松原周辺エリア


凡 例
市街化区域
都市機能誘導区域
居住誘導区域
指定避難所
想定最大規模降雨に対応
指定避難所徒歩圏（半径500m）
洪水浸水想定区域
[L2：想定最大規模降雨]
3.0m以上
0.5～3.0m未満
0.5m未満
家屋倒壊等氾濫想定区域
（早期避難が必要な区域）
河岸侵食
氾濫流
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域
寿台公民館
松原地区公民館
寿台体育館
明善小学校
明善中学校
内田体育館
0 100 200 400
m